

## 親和建設株式会社の温室効果ガス削減目標が SBTイニシアチブの認定を取得

親和建設株式会社（以下、「当社」）が設定した温室効果ガスの削減目標が、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ(※1)」により科学的根拠に基づいた目標として認定されました。



### 認定された温室効果ガス削減目標

- ・ スコープ1(※2)およびスコープ2(※3)について、2020年度を基準に2030年までに42%削減する。
- ・ スコープ3(※4)について、排出量を測定し削減することを約束する。
- ◆ パリ協定が求める最も野心的な削減水準である1.5°C水準の削減目標です。

当社は、1. 私たちは従業員全員の幸福を追求するため、会社の安定・発展に全力で努めます。

1. 私たちは建設における卓越した知識と技術力でお客様の期待以上の品質とサービスを提供し感動を与えます。

1. 私たちは社会・環境の変化に柔軟に対応し、お客様から選ばれ続ける企業活動を行い続けます。

上記を経営理念とし、建築・土木工事の設計施工、不動産事業を展開しています。

この度、SBTイニシアチブの温室効果ガス削減目標の認定を取得しました。今後も事業活動における温室効果ガスの把握と削減に取り組むことで、「脱炭素」「気候変動対策」に貢献し持続可能な社会の構築に努めていきます。

### SBTの認定と温室効果ガスの削減を通じて、SDGs(※5)の以下の目標に貢献します



※1 産業革命前から地球の気温上昇を2°C未満に抑えるため企業に科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標の設定し、排出量削減を推進することを目的にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が2015年に共同で設立。

※2 直接的温室効果ガスの排出（当社では、営業車両の燃料が主な対象排出源）。

※3 電力、熱、蒸気の導入時の排出（当社では、購入電力による間接的排出が対象）。

※4 その他の間接排出（スコープ1およびスコープ2を除く、製品の製造・販売・消費とあらゆるバリューチェーンにおける温室効果ガスの排出）。

※5 Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標。17のゴール・169のターゲットで構成されている。